

市議会だより

平成29年
第3回定例会
第258号

平成29年(2017年)
11月28日発行

発行／小金井市議会

〒184-8504 小金井市本町六丁目6番3号

編集／広報協議会

TEL (042) 387-9947(直通) FAX (042) 387-1225

小金井市議会ホームページアドレス

http://www.city.koganei.lg.jp/

shisei/gikaijimukyoku/



議会報告会にご参加いただき
ありがとうございました

5日間37時間集中審査
平成28年度決算
(5会計)を認定

議会報告会を開催しました

10月22日(日)に、市役所本庁舎3階第一会議室にて、議会報告会を開催しました。荒天にもかかわらず、市民等38名の方々に参加いただきました。
当日は、議員から、議会の概要説明を始め、決算特別委員長、庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員長、各会派の報告を行った後、参加者を交えてテーブルトークを行いました。

一般会計補正予算(第2回)を可決

第3回定例会の概要

平成29年第3回定例会(五十嵐京子議長)は、8月31日に開会し、10月5日に閉会しました。

平成28年度歳入歳出決算を認定

一般会計の歳入総額は423億4千580万9千円(前年度対比5・3%増)、4つの特別会計(国民健康保険、下水道事業、介護保険、後期高齢者医療)を含めると658億3千322万4千円(前年度対比3・4%増)となりました。また、一般会計の歳出総額は402億4千353万4千円(前年度対比4・2%増)、特別会計を含めると635億1千631万円(前年度対比3・2%増)となりました。

この決算について、8月31日及び9月1日の本会議で議長を除いた23人で構成する決算特別委員会(村山ひでき委員長)に付託し、9月27日から10月3日までの計5日間、約37時間にわたり審査を行いました。

平成29年度一般会計補正予算(第2回)を可決

10月5日の本会議では、一般会計を含む5会計を認定しました。本補正予算は、一般会計予算を11億5千83万6千円増額し、補正後の歳入歳出予算総額を41億7千369万5千円とするものです。財政調整基金、庁舎建設基金に10億8千万円を積み立てたほか、次の経費等が計上されました。

▼特別支援教室に係る備品購入費及び修繕料(90万円)

東京都の補助金を活用し、平成30年度から小学校全9校に特別支援学級を設置するに当たり、パソコン、キャビネット、ホワイトボード等の必要な備品を購入するとともに、教室環境の整備のため、内装や照明器具等の修繕を実施するものです。

▼市民農園に要する経費(242万5千円)

東京都の補助金の一部を活用し、平成28年12月に返還したくりにやま市民農園を再度40区画借り入れるため、造成工事及び農具を購入するものです。なお、平成30年4月からの開園を予定しています。

▼庁舎維持管理に要する経費(228万1千円)

市役所第二庁舎801会議室の修繕及び備品を購入するものです。予算特別委員会では、委員から本経費の削除を含む2件の修正案を提出し、このうち1件を可決しました。本会議では、この修正案は否決しましたが、原案を可決したことに伴い、議員から本経費の執行に関する付帯決議(詳細は8面に掲載)を提案し、全会一致で可決しました。

平成29年第3回

定例会日誌

〔8月〕
31日 本会議(議案の審議・委員会付託・採決、議員提出議案の採決)

〔9月〕
1日 本会議(議案の審議・委員会付託)
5日 本会議(一般質問)
6日 本会議(一般質問)
7日 本会議(一般質問)
8日 本会議(一般質問、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託)

11日 厚生文教委員会
12日 建設環境委員会
13日 総務企画委員会
14日 予算特別委員会
15日 議会運営委員会
19日 庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会

20日 行財政改革推進調査特別委員会
21日 議会運営委員会
予算特別委員会
庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会

25日 本会議(委員会付託案件の採決、議案の審議・採決、議員提出議案の審議・採決)
27日 決算特別委員会
28日 決算特別委員会
29日 本会議(議案の審議・採決)
決算特別委員会

〔10月〕
2日 決算特別委員会
3日 決算特別委員会
5日 本会議(委員会付託案件の採決、議案の審議・採決、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託)

市議会の本会議・委員会等の様子をYouTubeで配信しています。
<https://www.youtube.com/user/koganeishigikai>



審議した主な議案

平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定について

決算の概要は1面に掲載しています。

【反対討論(要旨)】

水上洋志(日本共産党)

反対の理由は第1に、就学援助切下げや保育料値上げ、国保税が多摩26市中1番の高さとなるなど、市民生活に冷たい決算だからである。第2に、市長公約の「6施設複合化」が破たんし、新福祉会館計画で公民館本館など行き先不明の施設が生まれるなどの問題があるからである。また、厳しい徴税の在り方や繰越金が20億円も発生し、市民生活支援は可能であるにもかかわらず、大規模事業に優先的に投入する税金の使い方になっているからであり、反対する。

【賛成討論(要旨)】

鈴木成夫(市議会民進党)

平成28年度は、徴税部門が一体となった取組で1億5千万円の財政効果を生み、小金井市初の民間人事交流が始まった。保育園待機児ゼロには至らなかったが多摩26市トップクラスの200名の定員増と質の向上に努めたことを高く評価する。また、様々な課題の中、庁舎問題に一定の道筋を示し、長年の課題解消に取り組んだことも重要である。今後も不断の努力による行革の取組の推進を要望し、平成28年度決算に対する賛成討論とする。

【反対討論(要旨)】

片山 薫(緑・市民自治)

市長方針が6から4施設、ゼロベースと変質し混乱を招いた。

市長が現実的な案を示せなかったのは、公約に問題があったためと明らかにすべき。低所得者の納税相談を充実し、市税や国保税の徴収強化は行うべきではない。就学援助の認定率が来年は生活保護基準1.5倍に引き下げられる。認定率を下げるなら保護者負担の教育費を無償にすべき。公民館という社会教育の場は住民自治の基礎であり安易な行革の対象ではない。公民館運営審議会答申は尊重すべき。

【反対討論(要旨)】

白井 亨(こがおも)

暫定予算の影響を除き、大枠では滞りなく市民サービスを提供できた。しかし、6施設複合化プランのゼロベースから白紙撤回に至る変遷を含め、場当たり的な市長の対応に不安を覚えた。公約破りについて市民への丁寧な説明もされていない。また、保育ビジョンもなく質の議論も不十分なまま、財政視点のみでの近視眼的な保育園民営化の取組は「子育て環境日本一」のスローガンと矛盾があるのではないか。本決算の認定には反対するが、今後を期待する。

【反対討論(要旨)】

渡辺大三(情報公開)

反対の理由①前年度対比で正規職員が11名増え、人件費総額も1億5千万円増え続けている。②福祉や子育て支援などの民生費、学校教育や生涯学習の教育費、いずれも市民1人当たりの額が、多摩26市で最低の26番目である。一方、土木費や総務費は高い。③福祉会館閉館の影響を最小限に抑制する工夫が不十分であった。④6施設

複合化という市長公約の「後始末」に多大な時間がかかり、市庁舎の基本設計に入らず、4億円の無駄遣いが生じた。

【反対討論(要旨)】

田頭祐子(生活者ネット)

決算年度は市政運営上の先行き不透明さが際立った。まず6施設複合化から4施設複合化となり、ゼロベース見直しとなった新庁舎(仮称)新福祉会館建設問題。次に、はげや野川を分断する2本の都市計画道路。廃止や見直しを求める切実な声を、なぜ自治体のトップとして都に伝えないのか。また、就学援助の支給率の引下げは、困っている人から奪い、より困っている人へ配分する施策だ。「子育て環境日本一」との整合性もリーダーシップも全く見えない。

平成29年度一般会計補正予算(第2回)

本件は、9月1日の本会議において予算特別委員会(白井亨委員長)に付託し、9月14日及び21日の委員会で審査を行い、9月21日の委員会で、渡辺(大)委員による修正案及び、たゆ委員ほか1名による修正案の2件を提出し、たゆ委員ほか1名による修正案を可決した後、修正部分を除く原案について、起立採決の結果、起立全員により、原案のとおり可決すべきものと決定しました。9月25日の本会議では、修正案について否決した後、原案について採決を行い、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。なお、10月5日の本会議では、市役所第二庁舎80会議室の修繕及び備品購入費の執行に関し、付帯決議を提案し、全会一致で可決しました。

【反対討論(要旨)】

吹春やすたか(自民党・信頼)

市役所第二庁舎の備品購入費及び修繕料の予算については、これらが急に劣化摩耗したものでなく、本来当初予算に計上すべきである。この予算措置は提案姿勢として疑問があり、計画的な行政執行とは言い難い。他の公共施設も含めて改めて精査し、改善策も検討してから、予算計上する必要があることかつ、安全面に配慮が必要であれば、予備費対応により早急な対応も可能なことから、該当部分の予算を除く修正案に賛成する。

【賛成討論(要旨)】

村山ひでき(市議会民進党)

庁舎建設基金への3億円の増し、くりやま市民農園の再造成工事費、消防団活動に必要な防火衣購入費、空き家等対策計画策定支援委託料、各小学校に設置される特別支援学級の備品購入費・施設修繕費など速やかな予算執行を望むが、予算特別委員会の質疑を鑑み、市役所第二庁舎80会議室の床タイルカーペット修繕費と汚れが目立つイスや老朽化した長机を取り替える備品購入費については付帯決議を提出して賛成する。

【賛成討論(要旨)】

坂井えつ子(緑・市民自治)

4点要望し、賛成する。①庁舎建設について。市長がリーダーシップを発揮し、議会に対し誠意ある態度をとること。②市内公共施設について。修繕を要する箇所等、状況を一元化すること。③東町二丁目の「防犯」カメラ設置について。周知をしっかりとし、懸念する声がある場合は、設置の是非から協議すること。④来年度から各小学校に設置される特別支援教室につ

いて。障がい理解や合理的配慮の提供について、児童や教員の理解を深めること。

小金井市学校給食費補助金の交付に関する条例(議員提案)

6月22日の本会議において厚生文教委員会(水上洋志委員長)に付託し、8月3日の委員会で審査を行いました。本条例は、市が実施している学校給食に関して、保護者の経済的な負担の軽減と子育て支援の拡充を図ることを目的として、議員から提案しました。内容は、市立小学校に在籍している児童1人当たり月額200円以内、市立中学校に在籍している生徒1人当たり月額300円以内と、補助対象と補助金の額等を定めるものです。8月31日の本会議では、起立採決の結果、起立少数により、否決しました。

【賛成討論(要旨)】

たゆ久貴(日本共産党)

賛成の理由は、学校給食費の補助は、保護者の経済的な負担を軽減するために必要と考えるからである。この条例は、4月からの学校給食費値上げ分を市が補助するものである。給食費が払えず肩身の狭い思いをしたり、生活費を切り詰めて給食費を捻出したたりするなど、給食費の支払いが保護者の大きな負担となっていることから、支援が求められている。必要となる予算の千700万円は、毎年10億円以上ある繰越金の約1.7%であり、十分対応は可能である。

議員研修会を開催しました

10月23日に、「質問力を高める 議会力に活かす」をテーマに、土山希美枝さん(龍谷大学教授)を講師にお招きし、市民の方にも公開しての議員研修会を開催しました。



会派名が変わりました

8月31日付けで、渡辺大三議員の所属する会派より会派異動届が提出され、会派の名称が次のとおり変更となりました。(新)情報公開がねい(旧)リベラル保守の会

★広報協議会

次の日程で開催しました。会議の様子はYouTubeでご覧いただけます。

- ▼8月31日(木)
- ▼9月25日(月)
- ▼11月2日(木)

閉会中の委員会日程及び審査案件

議会運営委員会

10月27日(金) 午前10時
11月28日(火) 午後2時

▶議会改革に関する諸問題の調査(臨時会を含む。)の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査、②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査、③議会運営に関する議長の諮問事項について

庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会

11月6日(月) 午前10時

▶新市庁舎の床面積縮減等による建築コスト削減等を求める陳情書 ▶市庁舎の建設面積を縮減することにより、図書館本館の建設を進めることを求める陳情書 ▶公民館本館を新福祉会館と併設する旨の議会意思の確定を求める陳情書 ▶庁舎及び福祉会館建設等に係る諸問題の調査

行財政改革推進調査特別委員会

11月15日(水) 午前10時

▶行財政改革の推進に係る諸問題の調査

厚生文教委員会

11月16日(木) 午前10時

▶JR高架下にバリアフリーのスポーツ施設を建設していただくための陳情書 ▶(公財)小金井市体育協会への補助金交付の一時停止を求める陳情書

▶公益財団法人小金井市体育協会への補助金の一部返還に関する陳情書 ▶安全性の向上のため、学校給食の調理場にスポットエアコンなどの冷房機器の設置を求める陳情書 ▶大腸がん検診の充実を求める陳情書 ▶公立保育園の委託についての市民向け説明会の開催を求める陳情書 ▶子ども施策に関する諸問題の調査 ▶小金井市保健福祉総合計画の策定と運用について

建設環境委員会

11月22日(水) 午前10時

▶駅前整備に関する調査 ▶市内都市計画及び住環境に関する調査 ▶資源循環社会形成に関する調査

総務企画委員会

11月24日(金) 午前10時

▶北朝鮮のミサイルに備えた避難訓練等の実施を求める陳情書 ▶福祉会館跡地の地上権価格の把握に向けて複数社による適正な不動産鑑定を求める陳情書 ▶福祉会館跡地の地上権に関しては、市(市民)にとって最も有利な処理をすることを求める陳情書 ▶東京都に、第32回オリンピック2020東京の開会式に競技施設等の工事従事者の入場行進を求める等の意見書提出を求める陳情書

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

議案の審議結果		【会派略称】													議決結果														
		公：小金井市議会公明党			自：自由民主党・信頼の小金井			共：日本共産党小金井市議団			民：小金井市議会民進党			緑：緑・市民自治こがねい															
		お：小金井をおもしろくする会			会：こがねい市民会議			情：情報公開こがねい			明：小金井の明日をつくる会																		
付託先略称 即：委員会付託を省略し本会議で採決		○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長（原則、採決には加わらず）																											
総：総務企画委員会 厚：厚生文教委員会		自	共	公	民	緑	お	会	情	改	ネ	明																	
建：建設環境委員会 予：予算特別委員会		吹	湯	河	五	遠	水	た	板	森	渡	小	紀	宮	村	鈴	岸	片	坂	白	齋	渡	篠	田	沖				
決：決算特別委員会		春	沢	野	十	藤	上	ゆ	倉	戸	辺	林	由	下	山	木	田	山	井	井	藤	辺	原	頭	浦				
		す	綾	律	嵐	百	洋	久	真	洋	ふ	正	紀	誠	ひ	成	正	え	亨	康	大	ひろ	祐	あ					
		た	子	子	京	合	志	貴	也	子	き	樹	子	誠	で	夫	義	つ	亨	夫	三	し	子	つ					
		か			子	子																							
平成28年度小金井市一般会計歳入歳出決算の認定について		決	○	○	○	議	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○				認 定	
平成28年度小金井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		決	○	○	○	議	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○				認 定	
平成28年度小金井市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				認 定	
平成28年度小金井市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				認 定	
平成28年度小金井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		決	○	○	○	議	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○				認 定	
平成29年度小金井市一般会計補正予算（第2回）		予	○	○	○	議	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○				原案可決		
↳ 平成29年度小金井市一般会計補正予算（第2回）に対する修正案（議員提案）		予	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×				否 決		
平成29年度小金井市国民健康保険特別会計補正予算（第2回）		予	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				原案可決		
平成29年度小金井市介護保険特別会計補正予算（第1回）		予	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				原案可決		
平成29年度小金井市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）		予	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				原案可決		
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例		総	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				原案可決		
小金井市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例		厚	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				原案可決		
市道路線の認定について		建	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				可 決		
市道路線の廃止について		建	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				可 決		
公の施設の他の団体の利用に関する協議について		建	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				原案可決		
平成29年度小金井市一般会計補正予算（第3回）		即	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				原案可決		
小金井市臨時職員の任用等に関する条例の一部を改正する条例		即	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				原案可決		
平成29年度小金井市一般会計補正予算（第4回）		即	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				原案可決		
小金井市福祉会館解体工事請負変更契約について		即	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				可 決		
固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて		即	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				同 意		
農業委員会委員の任命に関し同意を求めることについて		即	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				同 意		
小金井市学校給食費補助金の交付に関する条例（議員提案）		厚	×	×	×	議	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○	×				否 決		

請願・陳情の審議結果		【会派略称】													議決結果														
		公：小金井市議会公明党			自：自由民主党・信頼の小金井			共：日本共産党小金井市議団			民：小金井市議会民進党			緑：緑・市民自治こがねい															
		お：小金井をおもしろくする会			会：こがねい市民会議			情：情報公開こがねい			明：小金井の明日をつくる会																		
付託先略称 総：総務企画委員会 厚：厚生文教委員会		○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長（原則、採決には加わらず）																											
建：建設環境委員会 議：議会運営委員会		自	共	公	民	緑	お	会	情	改	ネ	明																	
		吹	湯	河	五	遠	水	た	板	森	渡	小	紀	宮	村	鈴	岸	片	坂	白	齋	渡	篠	田	沖				
		春	沢	野	十	藤	上	ゆ	倉	戸	辺	林	由	下	山	木	田	山	井	井	藤	辺	原	頭	浦				
		す	綾	律	嵐	百	洋	久	真	洋	ふ	正	紀	誠	ひ	成	正	え	亨	康	大	ひろ	祐	あ					
		た			子	子																							
		か			子	子																							
中央線高架下の歩道状通路の早期完成を求める陳情書		建	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				採 択		
小金井市長及び市議会議員の憲法尊重擁護義務について確認していただくことを求める陳情書		総	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				採 択		
小金井三宅島友好協会の会長に前市長が就任したことに係る陳情書		総	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	△	△	△	×	×	○	○	×	×				不採択		
懲戒分限審査委員会の速やかな開催を求める陳情書		総	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				不採択		
議会運営委員会の所管事項に関連して、学校給食調理業務民間委託化「裏取引」疑惑の解明を求める陳情書		議	×	×	×	議	×	△	△	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×				不採択		
厚生文教委員会の所管事項に関連して、学校給食調理業務民間委託化「裏取引」疑惑の解明を求める陳情書		厚	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×				不採択		
総務企画委員会の所管事項に関連して、学校給食調理業務民間委託化「裏取引」疑惑の解明を求める陳情書		総	×	×	×	議	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×				不採択		

会議録が早くご覧になれるよう、未定稿（校正中）を公開しています。
<http://asp.db-search.com/koganei-c/>



一般質問

(4面～7面)

9月5日、6日、7日、8日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

会派の略称

(自民党・信頼)	自由民主党・信頼の小金井
(日本共産党)	日本共産党小金井市議団
(公明党)	小金井市議会公明党
(市議会民進党)	小金井市議会民進党
(緑・市民自治)	緑・市民自治こがねい
(こがねい)	小金井をおもしろくする会
(市民会議)	こがねい市民会議
(情報公開)	情報公開こがねい
(改革連合)	改革連合
(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(こがねい)	小金井の明日をつくる会

武蔵小金井駅北口の今後について

小林正樹(公明党)

①7月末で西友が閉店となり、北口の今後について市民から不安の声が届いている。(ア)再開発の検討状況は。(イ)商業ビルの利用計画が決まるまでの間、有効な利用ができないか。(ウ)駐輪場は今後も利用できるのか。

まちづくり担当部長

(ア)様々な観点からの再検討が必要になると聞いている。市としては支援を続けたい。(イ)今後、事業の進捗次第では、検討の余地もあるかもしれない。

都市整備部長

(ウ)平成30年1月末までの契約となっている。引き続き利用できるよう対応していきたい。

寄附の目的が明確で、かつ、

税額控除の対象ともなる、ふるさと納税型のクラウドファンディング(ガバメントC.F)を活用し、小金井らしく、市民全体で、魅力ある事業を盛り立ていく取組ができないか。



7月末で閉店となった武蔵小金井駅北口の大規模店舗

市長

市にとって有効な選択肢の1つだと考える。多くの人の思いをつないでいく素晴らしい取組である。具体的にどういった内容に近づけていけるか、知恵を絞りたい。



ココバス総合的見直しと学童大規模化を問う

岸田正義(市議会民進党)

①学童保育の大規模化は子どもを真ん中において、党派を超えて議会も行政も保護者も知恵を合わせて解決すべき課題。(ア)みどり学童のランドセル置き場が不足し、エアコンから水漏れしている状況を新年度までに早急に対応すべき。(イ)学童保育所、学校施設、児童館を含めた新たな放課後ビジョンを作り上げるべき。(ウ)放課後子ども教室拡充には担当の熱意と予算拡充が必要となる。市長の見解を問う。

児童青少年担当部長

(ア)可能な範囲で対応し、来年度に大規模修繕を実施する予定。

教育長

(イ)総合教育会議で基本的な考えをまとめていく。

市長

(ウ)関係者の声に丁寧に耳を傾け、充実させていく。

②ココバスの総合的見直しについて。(ア)新たな基本方針の下、既存5路線全てをゼロベースで作直すべき。(イ)地域で異なる



大規模化する学童保育所の現場

ニーズを直接把握するため、職員が各地域に向くべき。(ウ)3年間でプランを決定する必要があり、本格的に進めるべき。



「運営」から「経営」へ発想転換を

宮下 誠(公明党)

(ア)今、公共施設を再編するという段階に入ったとみて良いか。(イ)新庁舎や(仮称)新福祉会館は公共的サービス提供の中心拠点になる。これらを単なる建物ではなく、経営資源として捉えて、サービス向上に向けて挑戦すべきでは。(ウ)市の固定資産台帳を整備し、管理して保有する資産と、貸し出して収入を生むもの、事業展開して収入を得るものというように経営資源を分類・整理しては。

庁舎建設等担当部長

(ア)新庁舎建設(仮称)新福祉会館、清掃関連施設の再整備という課題に共通しているのは、施設の老朽化の対応と配置の変更だ。今、公共施設の再配置が始まっている。(イ)提案は、今後のサービス需要の変化に的確に対応するために必要なこと。公共施設マネジメントの方針の下、意識をもって取り組むたい。(ウ)固定



新庁舎竣工の暁には見極めの対象となる本庁舎敷地

資産台帳の整備は進めている。老朽化した施設の場合でも、同じ用途で使い続けるのか、更新するタイミングで経営資源とするのか、同様の考えを全ての施設に適用させるのか等々、これらは本市の公共施設全体に係る重要なポイントだ。公的資産を経営資源として捉えた活用について今後しっかり検討したい。



市の魅力発信と子ども福祉施策検証の現状は

鈴木成夫(市議会民進党)

①来年の市制施行60周年を機に、(ア)東小金井駅発車メモロディを小金井ゆかりのオリジナルのものへ変更すること、(イ)外部の知見を導入して行うシティプロモーションを検討しないか。

企画財政部長

(ア)オリジナル発車メモロディは市民に愛されるものへの変更を研究してみた



いが、実現へのハードルは高いと考える。(イ)シティプロモーションを効果的、効率的に進めていく上では、専門的知識、経験、人脈等が求められる。一方で、高い専門性がある広告代理店等で活躍されている方との連携についても、本市の現状から考えて適当なのかの研究等も必要。

②来年10月に開設5周年を迎える児童発達支援センターきらりが実施する事業の課題は。福祉保健部長

一時預かり事業は、部屋の確保が困難で、実施が難しく、課題であると認識。保育所等訪問支援事業は、対象施設での認知度が低く、保護者からは手続きが煩雑との声も聞かれ、これらが利用者数が伸びない要因と分析。地域自立支援協議会等での周知を図りたい。

地域で支える安心できるまちづくりを

沖浦あつし(こがねい)

小金井市ゆき通り商店会が近隣福祉施設に声を掛けて取り組もうとしている、認知症高齢者等の徘徊に対して行う地域の誰も協力できる公益事業「みまもりあいプロジェクト」の紹介とその事業への支援について。(ア)認知症の可能性がある方は市内で何名と把握しているか。(イ)



紹介した事業についての感想は。(ウ)事業の普及・促進のために、費用の援助や周知、PRを。(エ)今後の高齢者福祉の在り方は。

福祉保健部長

(ア)正確な把握は難しいが、平成28年度末時点で2千760人。(イ)住民参加型のコミュニティ作りにつながる大変有意義な取組である。(ウ)先進市の取組状況を参考に、研究・検

討したい。

市長

(エ)市民の力、地域の力をいかすため、福祉と連携した取組に対して支援できるよう努力しなければならぬ。住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる地域社会の実現は、市民共通的の願いであり、地域における支え合い体制の構築は、地域包括ケアシステムの推進を図る上で不可欠な取組である。認知症への速やかな対応及び予防の啓発も重要で、関係団体と連携しながら健康長寿のまちづくりに向けた取組を推進したい。

市内中小事業者の支援策の拡充を

板倉真也(日本共産党)

(ア)木造住宅耐震化助成制度の補助率、額を引き上げるべき。
(イ)住宅リフォーム助成制度の創設に向けたスケジュールはどうなっているか。(ウ)賃金条項を含む公契約条例の早期制定に向けたスケジュールを明確にすべき。

と同等程度の自治体も複数あり、本市が特に少ないという状態には至っていない。(イ)具体的になっていない。理由は、実施事例が近隣市になく、一般リフォームについては都や国の交付金対象となっていないため。次期住宅マスタープランの見直しの際には、住宅政策全体の動向を踏まえつつ、住宅リフォームにつ



いての取組の方向について再整理させていただく考え。
総務部長 (ウ)公共工事と民間工事との契約や労働法制との整合性等、整理すべき課題もあり、かつ、賃金条項を規定した条例の制定は事業者、労働者、行政、市民に関わることから、慎重かつ丁寧な協議、検討が必要と考えている。現時点で条例の制定時期、スケジュール等については示す段階に至っていない。
■その他、「平代坂のガードレールに切れ目を多く」を要求しました。

障がい理解と差別解消の施策について

坂井えつ子(緑・市民自治)

(ア)庁内検討に入った(仮称)障害者差別解消条例について。条例案が議会に上程された際には、庁内検討前後の変化に着目していきたい。制定及び議会へ上程される時期は。(イ)福祉売店「りんくの店」閉店から1年半。代替場所の確保等の現状は。(ウ)市報こがねい音訳版、声の広報



「こだま」の今一度の周知を。
(エ)相模原の障がい者殺傷事件から1年余。先送りになっている市長見解はいつ出るのか。12月の障害者週間シンポジウムで述べたい。提案は意見として受け止めたい。
■その他、「セクシユアルマイノリティ政策」「若者の声を政策決定にいかすこと」について質問しました。

財政健全化への道④直下地震への備え

齋藤康夫(市民会議)

①どんなに素晴らしい政策や計画も財政の裏付けがなければ執行できない。財政健全化は市の最優先課題である。小金井市にとって財源の大きな柱は、市税収入を含め2本である。今回はもうひとつの柱である国庫・都支出金について質問をする。負担金・委託金、特に補助金の



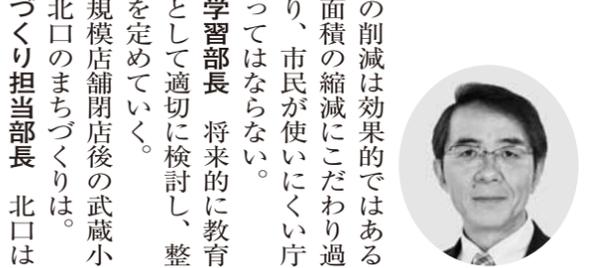
獲得のために知恵と工夫、努力と情熱を傾けるべきである。
企画財政部長 既存の事業を再編成することで補助対象とならないか検証を行う等、国や都の補助金を獲得するよう全庁挙げて取り組んでいるが、対象となる事業がなく、厳しい状況である。
②安全・安心のまちづくりを

実施年度	実施状況							
	計画	進捗	達成	未達成	未着手	中止	見直し	その他
2017年度	計画	進捗	達成	未達成	未着手	中止	見直し	その他
2018年度	計画	進捗	達成	未達成	未着手	中止	見直し	その他
2019年度	計画	進捗	達成	未達成	未着手	中止	見直し	その他

庁舎の床面積増やさず図書館本館建て替えを

渡辺大三(情報公開)

①新市庁舎の床面積を現状と同程度に据え置けば、追加財源を投下しなくても、図書館本館は床面積を大幅に増やして建て替えることが可能になる。市長は決断すべきではないか。例えば、1階2階を図書館で、3階から上を庁舎でもいいと思う。庁舎建設等担当部長 庁舎の



床面積の削減は効果的ではあるが、床面積の縮減にこだわり過ぎる余り、市民が使いにくい庁舎であってはならない。
生涯学習部長 将来的に教育委員会として適切に検討し、整備方針を定めていく。
②大規模店舗閉店後の武蔵小金井駅北口のまちづくりは、まちづくり担当部長 北口は、

市制60周年の取組状況と投票率向上施策

村山ひでき(市議会民進党)

①来年10月1日に小金井市は市制施行60周年を迎える。(ア)多くの市民が参加できるメインイベントの取組状況は。(イ)来年に周年を迎える団体やイベントも多い。コラボレーションできる冠事業や補助金アップの検討を。(ウ)市井で活躍する市民こそ推薦して功労者表彰をすべき。(エ)名



誉市民を選定しないか。
企画財政部長 (ア)庁内にて検討中。(イ)調整を進める中で協議する。(エ)名誉市民条例に基づき選考委員会の設置等、準備を進めたい。
広報秘書課長 (ウ)功労者は市報等を通じて募集をする予定。
②投票率は民主主義の根幹。低投票率に危機感を持ち、投票率

市の羅針盤、長期ビジョンを早急に策定せよ

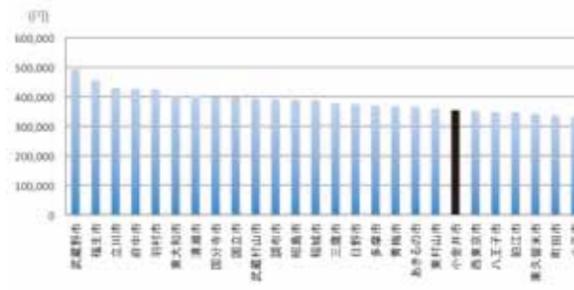
白井亨(こがね)

小金井市は、長期的なビジョンがないことよって、行き当たりばったりで非効率な行政運営が行われてきたと指摘してきた。公共施設の総合的な管理計画は定めたものの、具体的な施設計画の策定はこれからになる。おける改修等の個別最適と、市



の全体設計の中で小学校単位をコミュニティ区化する構想に基づいた学校施設の複合化という全体最適は、その調整に当たっての根拠が必要となる。来年度は、総合計画や都市計画、子育て、産業振興、総合戦略など、重要な計画の改訂に向けた準備に入るタイミングにある。来年度中に皆が共有できる目指すま

平成28年度市民一人当たりの歳入総額26市比較



声の雑誌「こだま」は、対面朗読の会の協力のもと図書館が発行。小金井市内のタウン情報も収録されている。

ちの将来像、ビジョンを策定するべきではないか。
企画財政部長 来年度は非常に重要な年である。今後の第5次基本構想を策定していくプロセスの中に位置づけて考えても、提案された長期ビジョンにつながるものだと思う。市制施行60周年を迎える中、子ども、若者等が議論に参加できるグラウンドデザイン策定に向けたワークショップを開催していくこと等も検討している。長期総合計画等の策定への基本的な考え方を整理する際の参考にした。

公園について 美化・砂場・水遊び施設

湯沢綾子(自民党・信頼)

(ア)美しい公園はまちの顔であり、美化にご協力頂いている市民には感謝しかない。市民協働の理念の下、市の協力体制を確立すべき。(イ)砂場は子どもの発達に良い影響があるとも言われ、人気の遊具である。安心して遊ばせられるよう衛生状態を保つ努力をして欲しい。(ウ)市の公園



には水遊び施設がない。「水と緑のまち」にふさわしい水遊びのできる公園をつくらないか。

環境部長 (ア)今年度は学芸大学ラクロス部の学生に環境美化サポーターになっていただき、各公園に派遣する取組を始めた。ボランティア団体には予算的支援のほか、担当職員と一緒に問題解決に取り組んでいる。(イ)利

用者の多い27園では砂場の定期清掃をしているが、なかなか行き届かない。利用実態調査を元に効率化する等公園整備方針の作成を検討する。(ウ)衛生面や水不足の問題もあり難しい。水遊びを楽しみつつ環境について学べるイベントを実施したい。

■その他、新福祉会館に保健センター機能の導入が検討される



栗山公園の修景池(入って遊ぶことはできない)

国民健康保険税の増税をやめ、負担の軽減を

森戸洋子(日本共産党)

来年度から、国民健康保険制度が都道府県単位化に変更される。加入者の負担が増えることが懸念される。(ア)新たな制度では、保険税の収納率の向上が国の補助金に影響するが、滞納者への徴税が強化されるのではないか。(イ)保険税は、東京都が示す統一の保険料とするか、区市

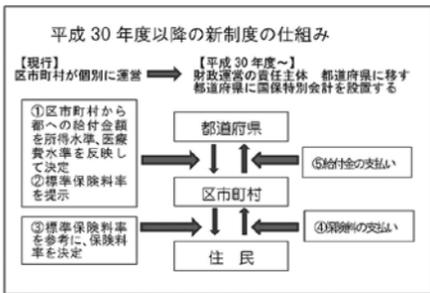


町村の実情に応じたものにするかである。23区と比較すると、小金井市の場合は増税になり、負担が増える。市の実情に合わせた保険税に変更し、加入者の負担を軽減すべきではないか。(ウ)大幅な負担増にならないために、一般会計からの繰入金で補填しないか。

市民部長 (ア)制度改革と関係

なく、保険税の収納率の向上は必要なこと。滞納整理は法に基づいてやっていく。(イ)都が示した標準保険税率を参考に、市町村が税率を定めることになる。適切なものになるよう努めていく。(ウ)保険税が急激に増加する場合は、繰入金で負担増が緩やかになるように配慮を求めている。今後検討することになる。

■その他、国連での核兵器禁止条約の採択を受け、核兵器廃絶に向けた市の平和施策の更なる取組、東町一丁目市有地の活用について質疑しました。



2018年度からの国保税の賦課と徴収のしくみのイメージ図(都道府県ブロック会議資料より)

公園格差解消に向けて 災害時ドローン活用を

吹春やすたか(自民党・信頼)

1 貫井北町地域の公園について。(ア)保健センター敷地内の遊具が撤去されたが、今後どのような状況になるのか。(イ)中間処理場管理棟西側、メタセコイアの木が生えている場所を公園にできないか。



地元の皆様、センター利用者の要望に答えていきたい。

環境部長 (イ)地域の要望を受け止め、中間処理場の運営協議会で内容を検討していきたい。

2 2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、経済的効果を視野に入れた取組を考

えないか。

市長 来年の市制施行60周年から3年間大きな事業が続く。地域経済の活性化につながる取組を是非考えていきたい。

3 災害時の新しい取組としてドローンをどう考えているか。

総務部長 ドローンを活用した災害時の迅速な対応、初動体制が非常に重要であると考えており、多摩川流域6市はNPO法人と協定を締結している。今後、協定の枠組を踏まえ、検討を行い、初動体制の整備について考えていきたい。



中間処理場西側空き地を公園に

今こそ小金井桜と 伝統野菜でまちおこしを

渡辺ふき子(公明党)

1 小金井桜の今年の樹勢調査では、新たに12本の枯死木が確認された。「日本の桜を救ったイギリス人」コリンウッド・イングラムは20世紀初め「この桜は今まで見た中で一番質がいい」と、玉川上水兩岸の桜並木を称え、イギリスの園芸誌で紹介した。彼が交配したオカメと



いう桜は、小金井宮地楽器ホール前の道路に植えられている。川崎平右衛門没後50年の本年、市と桜の歴史を学び、長く小金井桜を継承する仕組み作りを。

生涯学習部長 11月に企画事業を開催する。桜を保護し、次世代へ継承していくため、苗畑の確保や補植等の整備を、東京都と協調して進めていきたい。

2 江戸東京野菜を活用したイベントが減少している。新たなステップに立ち、小金井のブランド野菜として、食育やおもてなし事業にも活用しないか。

市民部長 日常的に伝統野菜に親しめるよう、江戸東京野菜使用店を16店舗認定し、ガイドブックを作成・配布している。

学校教育部長 農業・学校関係者と相談し、協力しながら、教育の中でも活用したい。

介護の充実と 児童館の建設を求める

たゆ久貴(日本共産党)

1 「65歳の壁」問題について、障がい者が65歳になり、介護保険優先になっても障がい福祉サービスを上乗せ利用できるようにし、自己負担も新たに発生しないようにすべきではないか。

福祉保健部長 障がい福祉サービス固有と認められるものについては利用できる。国の負担



軽減から外れた方への独自の補助については、国や都、また他市の動向を注視していく。

2 介護保険料は年々上がっている。市民の生活が大変になっている。支え合い、助け合いの精神の下、10億円の繰越金を財源にし、保険料の軽減や減免を拡充するべきではないか。

福祉保健部長 これ以上の負担

3 中町天神前集会所の場所に、以前から要望も計画もある児童館を建設しないか。

児童青少年担当部長 市全体の公共施設の総合的かつ複合的な整備・配置の中で検討する。

JR中央線の ホームドア設置を

遠藤百合子(自民党・信頼)

1 都商工会、都商工会議所の計19団体により、JR八王子支社にJR中央線等の利用者の転落防止施設早期整備の実現に向けての要望書が提出されている。現状認識と今後の見通しは。



市長 早期の実現に向けて、取組を進めていきたい。

2 特殊詐欺、空き巣を撃退していくために。(ア)現状の対策は。

(イ)自動通話録音機の貸与の現状は。(ウ)「振り込め詐欺等被害防止条例」を制定しないか。

総務部長 (ア)被害防止のため

ツイッター・防犯講習会や安全安心メール・ホームページ等で注意喚起を行っている。また、小金井警察と協力してチラシ配布をしている。(イ)10月から貸与する準備を進めている。(ウ)他市の取組状況を参考に研究したい。

3 健康寿命維持のため、歯科衛生の更なる推進を図り、全保育園で歯科健診を2回に。

子ども家庭部長 保育所保育指針等に基づき、基準どおりに対応を行っていること認識。

■その他、薬物乱用防止について質問しました。

東小金井北口市民施設計画の促進を求める

水上洋志(日本共産党)

①前市長が地方新聞への寄稿で指摘した、小学校給食調理の民間委託化予算の成立に際し、当時の民主党が反対の意思を表明したこと、西岡都議(現市長)に、選挙の取組との「取引」を申し出て、予算成立に至ったとの記述に関して、市長の見解を問う。取引を申し出る電



問う。土地開発公社で取得以来、市の利子補給は約4億円に上る。来年が元本償還の期限で、計画を早く具体化し、必要とされる市民施設の建設を求める。

話があったのか。それに対し、どのような対応をとったのか。当時の民主党に何らかの働きかけを行ったのか。

市長 市議会民主党の申入れ記事にあるように、市議会民主党への支持や関与の事実はありませんとの内容のとおりである。

②東小金井北口まちづくり事業用地整備活用計画について

新庁舎及び新福祉社会館建設の現状について

河野律子(自民党・信頼)

①(ア)6施設複合化の白紙撤回、ゼロベースへの選挙公約の変遷後、福祉社会館は庁舎建設予定地への建設が決定し、庁舎は単体での建設はなくなったが、単体も含む建設計画の提示を委託するのは不要ではないか。計画案で重視することは何か。(イ)清掃関連施設移転後の建設か。(ウ)



(仮称)新福祉社会館の大幅な機能変更について、3億円を寄附した遺言執行者へ説明を。

庁舎建設等担当部長 (ア)いろいろと変化があるが、契約変更はしない。今後、配置案を検討したい。(イ)清掃関連施設の再整備は慎重かつ丁寧に進めたい。

福祉保健部長 (ウ)市民検討委員会の様子を踏まえ対応する。

ふるさと納税等で空林荘を建替え観光資源に

篠原ひろし(改革連合)

①下村湖人が「次郎物語」の構想を練った空林荘が焼失したままだが、建て替えて浴恩館の環境と共に観光資源としていかないか。市が受皿となり、ふるさと納税や寄附を集め、実行委員会等で整備してはどうか。生涯学習部長 複数の課で検討し、受皿も含め全体で考えて



いかねばならない。企画財政部長 担当課とも相談し検討していく。

②人口問題研究所は我が市の人口減少、年齢構成の変化の将来予測をしている。今後の厳しい財政状況を考慮して施設展開をせねばならぬが、公民連携、民間資金活用、収入増についての評価、決意を聞きたい。

オリジナル婚姻届等をつくらないか

紀 由紀子(公明党)

①立川市や八王子市のオリジナルの婚姻届、ウエルカムボードが話題である。小金井市でも市制施行60周年に合わせての作製を再度要望する。

②私は、平成18年第2回定例会から食育推進を何度も訴えてきた。また、小金井市食育推進基本条例第4条には、市は農業者、JA及び農業委員会と連携し、学校給食等で積極的に小金山産野菜等が利用されるよう努めるものとする、とある。(ア)食育推進と農業振興のため、市場



農産物の給食への導入率向上を。(イ)小平市を参考に地場農産物の学校導入や配送等に補助金を。学校教育部長 (ア)地場野菜の1学期使用量は昨年比1.3倍。関係者との意見交換を進める。

市民部長 (イ)補助ありきではなく、課題や方法を検討する。

③小金井市でも相続等で農地が減少している。これを防ぐため、改正生産緑地法に関連し、面積要件の緩和等の改正のため条例制定を早急にすべき。

無理な徴税をしない／住宅セーフティネット

片山 薫(緑・市民自治)

①(ア)来年からの国保税の都道府県化によって、税の徴収が更に厳しくなるのではないかと。国保税や市民税を滞納した際の納税相談にマニュアルはないのか。(イ)給与を差し押さえられている人からの税の繰上げ徴収は不当ではないか。通知を送り周知する期間が短すぎる。



市民部長 (ア)統一的なマニュアルはない。

納税課長 (イ)法に基づいて税を確保するために滞納処分をしている。期間については、法に定められているものではなく、一定の考慮をして延ばすことにした。

②(ア)住宅セーフティネット法改正の中で、居住支援協議会の

プレリアリヤカーで乳幼児からの外遊び／香害

田頭祐子(生活者ネット)

①(ア)プレリアパーク(プレパ)に来る乳幼児親子の人数と全体に占める割合は。(イ)リヤカーに野外遊び道具を積んで、プレパのない地域の公園などで乳幼児の野外広場ができないか。(ウ)今あるプレパを更に広げ、学童の放課後の居場所を作るためにも出張プレパを開かないか。



児童青少年担当部長 (ア)全利用者1万8千58人中、乳幼児は6千40人で35.5%。親子では1万人以上の利用で、乳幼児親子の利用率が高い。(イ)財源も課題。先進市を参考に研究。(ウ)実施場所が市内の西部と南部に偏っており、北部、東部地域の小学生には距離の問題があると認識。当面は長期休みに親子参加

の行事を増やすことを検討。出張プレパは今後の研究とする。

②柔軟剤、制汗剤など人工の強い香料が原因で、頭痛、めまい、吐き気などの症状が持続して苦しむ化学物質過敏症(CS)患者が増えている。(ア)香りの害、香害は受動喫煙と同じ。(イ)市の取組及び相談の有無は。(イ)香料自粛のポスターを市民参加で作作り、公共施設に貼らないか。福祉保健部長 (ア)相談はない。医療関係者の知見を得る努力を行う。(イ)まず病気について知り、何ができるか研究したい。

委員会の視察先とテーマ

- 厚生文教委員会
 - 10月11日～12日
 - ▽静岡県富士宮市(地域包括支援センターとの連携による福祉総合窓口について)
 - ▽埼玉県幸手市(地域包括ケアシステム「幸手モデル」について)
- 建設環境委員会
 - 10月11日～12日
 - ▽岐阜県高山市(起業家支援等を目的とした空き店舗活用について)

- ▽愛知県豊橋市(自転車活用推進計画について、空き家対策事業について)
- 議会運営委員会
 - 10月16日～17日
 - ▽大阪府八尾市(議会改革について)
 - ▽三重県四日市市(議会改革について)
- 庁舎及び福祉社会館建設等調査特別委員会
 - 10月30日～31日
 - ▽兵庫県神戸市(新庁舎建設について、転入・転

- 出時におけるワンストップ窓口について)
- ▽愛知県稲沢市(福祉総合相談窓口について)
- 総務企画委員会
 - 11月13日～14日
 - ▽新潟県糸魚川市(駅北大火の概要と対応について)
 - ▽石川県小松市(自主防災組織ランクアップの取組について)
- ※ 過去の行政視察報告書は、議会図書室(本庁舎4階)または情報公開コーナー(第二庁舎6階)で閲覧できます。



小金井市はGPN会員として印刷のグリーン購入に取り組んでいます

この議会報は再生紙を使用しています。*ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。この印刷物は、植物性インキ(石油系剤を利用するかわりに植物油を溶剤としたインキ)を使用しています。

